



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2020年6月25日朝刊 中部版

福島の中学校と遠隔交流

新茶味わい、来年へつなぐ



清水両河内中

東日本大震災後から続く静岡市清水区の清水両河内中と福島県南相馬市の小高中の交流会が24日、オンラインで行われた。本年度は新型コロナウイルス対策で県境をまたぐ移動を避け、情報通信技術（ICT）を活用して生徒同士の対面を実現した。

清水両河内中は2013年から毎年、学校茶園で摘んだ新茶を小高中に届けている。今年も生徒がそれぞれ13年分の手紙を添えて17日に発送した。24日はウェブ会議アプリ「Zoom」でつないだ両校で同じ新茶を味わいながら対話した。

清水両河内中の生徒が新茶の感想を尋ねると、小高中の生徒は「昨年よりもおいしい」と答えた。その後は「当地クイズを出し合ったり、当日の給食メニューを紹介したりして絆を育んだ。

清水両河内中の滝工レナ生徒会長（3年）は「今年も交流できるか不安だったが、先輩の時代から続く交流を無事つなげられて良かった」と話した。

南相馬市立小高中のオンライン交流を楽しむ生徒。静岡市清水区の清水両河内中。

（清水支局・栗原広樹）

- ①記事の交流会は何年目ですか。（ 8 ）年目
- ②今年の交流会が例年と違うのは何ですか。
（ **情報技術（ICT）を活用し、オンラインで行った。** ）
- ③互いに同じものを味わいながら話をしているが、それは何ですか。
（ **清水両河内中の学校茶園で摘んだ、同じ新茶** ）
- ④「ご当地クイズ」や「当日の給食メニュー紹介」などのほか、この形式でどのような交流ができそうですか。あなたのアイデアを書きましょう。

（例）今日の授業内容など学校生活のようすを紹介しあう。 学校自慢、地域自慢を出しあう。
今日の天気や気温、咲いている花などを紹介しあう。 同じ曲でダンスを踊る。 など

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

（小学校高学年～中学校／特別活動、総合）